

学校だより

県立大笹生支援学校

NO.1 H29.6.2



《学校長 あいさつ》

皆様には、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力いただきありがとうございます。本校は、今年度より校名を変更し「福島県立大笹生支援学校」となりました。新しい校名のもと、これまでの歩みを大切に、新たな気持ちで教育活動の充実に努めてまいります

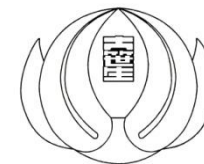


さて、平成29年度は全校生257名（小学部99名、中学部50名、高等部108名）でのスタートとなりました。本校の教育目標は「児童生徒一人一人の自立と社会参加を目指し、たくましい生活力と心豊かな人間の育成」です。この目標の達成に向け、すべての教職員が日々の教育活動において、児童生徒一人一人の能力や特性にしっかり目を向け、「学びの過程」を大切に授業実践に努めております。また、地域社会とのつながりを常に意識し、地域の学校や地域の人たちとのふれあいや交流活動に力を入れるとともに、地域貢献活動にも積極的に取り組んでまいります。

新しい校名のもと、教職員のチームワークをさらに高め、保護者の皆様や関係機関の方々とも連携を図り、すべての児童生徒が輝く学校を目指し努力を重ねてまいりますので、今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。また、大笹生地区の皆様には、日頃から本校の児童生徒を温かく見守っていただきありがとうございます。近くにお出かけの際には、本校に気軽にお立ち寄りください。

新校名変更に伴う取り組み

今年度、大笹生養護学校から「大笹生支援学校」に校名が変更になりました。4月6日の始業式の際、新校旗と新しい校名の入った看板が紹介されました。大笹生支援学校として、新しい歴史のスタートを実感する機会となりました。



校章の由来

校名である“大笹生”の文字の背景の楕円は、十六沼を表しています。その十六沼の下の方は組板山を、そこから十六沼を囲むように左右に伸びる形は、組板山に自生する笹を表現しています。



第55回福島県障がい者総合体育大会

5月21日、会津若松市のあいづ総合体育館などを会場に、福島県障がい者総合体育大会が開催されました。中学部と高等部の計56名の児童生徒が、フライングディスク、バスケットボール、水泳、卓球、陸上競技に出場し、日頃の練習の成果を発揮することができました。

